

第5回裾野市観光基本計画策定委員会 会議録

【日時】平成23年3月4日（金）18:00～19:30

【場所】裾野市役所 3階 301会議室

【出席者】＜委員＞

木村 繁（有限会社木村商店／代表取締役 ・ 裾野市観光協会／顧問）
庄司 政史（株式会社時之栖／取締役専務 ・ 裾野市観光協会／理事）
岩田 翼（有限会社ワン・テン／代表取締役 ・ 裾野市観光協会／副会長）
道本 晃一（株式会社フジヤマリゾート／取締役社長 ・ 裾野市観光協会／理事）
中川 敏夫（株式会社三ツ輪交通自動車／代表取締役社長 ・ 裾野市観光協会／理事）
濱中 幸（富士サファリパーク／取締役園長 ・ 裾野市観光協会／理事）
羽田 耕治（横浜商科大学商学部貿易・観光学科教授）
長澤 志郎（公募）

【欠席者】＜委員＞

石井 尚子（公募）
杉山 共実男（南駿農業協同組合／北部地区本部長）

【次第】

1. 開会
2. 議事
 - (1) 観光基本計画(案)について
 - (2) 自由討議
3. その他
4. 閉会

【議事詳細】

1. 開会

産業建設部 勝又壽彦部長

先日、市長、副市長、部長で組織する庁議で簡単に説明をしたところ、2、3意見はあったものの、大変分かりやすいというようなお褒めの言葉を頂けた。本当に皆さんのお陰だと感謝しています。

2. 議事

(1) 観光基本計画(案)について

事務局より、上記について説明。

(「裾野市観光基本計画(案)」参照)

(2) 自由討議

今回出席の8名の委員が、上記項目の内容について討議した。

【道本委員】

P47の7番観光プロモーションの強化は必要ということが今までの会議で出ていたのに、重要度が低すぎるのではないかと。違和感がある。

観光プロモーションの強化の18番が低になっているが、例えばフィルム・コミッションの設立、デザイナーによるデザイン化はそんなに必要ないのではないかと。

地元の方が利用している部分を他にも使ってもらいたいという議論があったのに、観光プロモーションの17番観光交流イベントの魅力強化が「低」というのもおかしいのではないかと。

19の観光情報提供媒体の整備ももう少し高くても良いのではないかと。

3番の多様な体験、スポーツ・健康増進が「低」になっているのは、1-2 自然体験・農業体験を充実させて、その次だろうという意識があったためだと思うのでこのままで良いのではないかと。

6番の広域観光ルートの形成と情報発信はまず体制の整備があつてからという感じがするのでこのままでいいのではないかと。

8番の22、観光ボランティアガイド、観光インストラクターの育成は、難しいところだが1つ上げて良いのではないかと。

⇒【庄司副委員長】

皆さんの意見を反映してこうなっていると思う。観光協会をはじめ現状やっているところが今のペースでいくのか、更にパワーアップするのかということもあると思うが、ある意味では、これは民間で推し進めていくことが1番現実的かもしれないので、民間で先行していくという部分ではやれる範囲かなと思う。

⇒【木村委員長】

当然低いから手を付けないという問題ではなく、重要度は低くても短期に手を付けようという意見が出ているので、このままではないと思う。色々な行政や周りの状況によって変わるものはたくさん出てくると思うので、状況によって変えていかなければいけないと思うので、1つ上げることは問題ないと思う。

⇒【事務局】

表現の方法として、例えば「高」を最重要、「中」を重要、「低」は入れないとか丸を付けないで、最重要、重要の2段階の表現にする。

⇒【羽田委員】

確かにこのままでは誤解される可能性があると思う。観光プロモーションの強化で特に18番の観光情報発信と提供の推進が低になっていると、なぜ？という疑問があると思う。

皆さんがアンケートで評価された時の受け止め方にもよると思うが、例えば富士山のビューポイントの選定と整備はまさに裾野市がこれから観光の振興を目指す時に、極めて戦略的に重要だという捉え方で高いランクになったと思う。

重要というのは恐らく戦略的にかなり重い意義を持つであろうということで評価されているはず。裾野市の観光振興へ向けた戦略的観点から重要度を表現するというような注意書きを加えておいた方が誤解を招かないという気がする。

観光情報の発信や市民におけるおもてなし意識の啓発は戦略的に重要ということではなく、共通してやっていかなければいけない話なので、そういうものと富士山のビューポイントの選定と整備を同列には比較評価はできないと思う。だからそれが分かるような形で示した方が良い。

⇒【事務局】

戦略的観点からの重要性ということで、最重要、重要、あともう1つ。

⇒【道本委員】

最重要、重要、必要はどうか。

⇒【岩田委員】

18番観光情報の発信と提供の推進、19番観光情報提供媒体の整備については特に問題無いのであれば、バックアップして頂く意味でも上に上げて欲しい。

⇒【木村委員長】

17番の観光交流イベントの魅力強化と18番の観光情報の発信と提供の推進を1ランク上げた「中」に変更。

【中川委員】

今盛んにがんセンターを中心としたファルマバレー構想があり、病気になる手前の人や治療後元気になった方との交流の中で、これから健康志向ということが出てくると思う。そうすると、自然観察コース・歴史観察コースの整備や山を歩いてリフレッシュするようなものを健康と

結び付けて作ったらおもしろいのではないかと思う。

裾野市内に住んでいる芸術家の方に手伝って頂いて、まちづくりをすることで潤いのあるまちになったり、市外の方の見方も変わるのではないかと思う。

【木村委員長】

15 ページの観光施設・行事の他市町との比較表で、裾野市の触れ合う部分が 2 件だけというところが気になる。

何の資料を参考にしたのか。

⇒【事務局】

静岡県観光交流の動向という県の調査で、このような拾い方をしている。

⇒【岩田委員】

小山町の産業祭、御殿場市の農協祭が入っているが、個人的には裾野の産業祭も負けていないと思う。

シニアのトーナメント、スタンレーのレディースも行われている。

⇒【濱中委員】

高原マラソンは三千何百人が出場し、その方たちにプラス α で応援する方、家族が動いてくる。こういったことでもっと裾野市を知らしめることで、裾野市の良さを知ってもらうことになると思う。

⇒【岩田委員】

裾野市のデータをメインだとすると、例えば阿波おどりは 20 年のキャリアがあり、沖縄フェスタはまだ浅いが着実に根付いているイベントなので、戦略的なアピールとして取り上げて欲しい。

⇒【事務局】

12 ページに祭り・イベントのリストが入っているので、そこに加えていく。

⇒【道本委員】

これは他の御殿場、小山に比べて裾野が低いことは問題という意図だと思う。

⇒【木村委員長】

そのように感じたが、捉え方のよっては「これしかないのか」と思う。知らない人はなおさらそのような見方をしてしまう可能性がある。

⇒【道本委員】

比較対象を外してはどうか。静岡県観光交流人口の動向調査というものから引っ張ってきていて裾野市だけ増えるのは変な話なので、裾野だけの表にして 17 件であまり多くないという形にするか。

もしくは皆さんの知っている範囲のものを入れて、これだけあるがまだ少ないというような論調にするか。

⇒【事務局】

14 ページの 238 万人の中身でリンクしているので、御殿場と小山を取ってしまえば、そち

らの方がスッキリするかもしれない。

⇒【木村委員長】

載っていないイベントの数字が入ったとなると、数字は上がってくるということか。

⇒【行政】

長年この施設できてしまっているの、恐らくこちらが報告すれば載ってくると思う。確かにマスターズが載っていてファンケル、スタンレー等が載っていないのはおかしいので。

⇒【濱中委員】

裾野市にあるものをカウントしないと実態がずれてしまう。

観光協会が一生懸命やっているイベントが載らないのはおかしい。

数字はわかるのか。

⇒【行政】

主なものについてはわかる。

⇒【事務局】

15 ページの数字を変更すると 14 ページの経年的な数字も全部ずれてしまう。

⇒【道本委員】

あまり客観的なものにならなくなってしまふ。

⇒【岩田委員】

実際に色々なイベントをやっているのに、これでは全然やっていないような感じなので、裾野市のところに括弧で追加しておけばいいのではないか。

⇒【道本委員】

この数字が変わって、もし実際には観光交流客数が増えているとなるとまた内容が違ってくる気がする。

⇒【濱中委員】

高原マラソンやゴルフは動員数が増えているのに入れないのは、裾野市の実態がぶれてしまうと思う。

⇒【岩田委員】

14 ページの表の観光交流客数 99.2%で減ということだが、新たな数字を入れるとプラスになる可能性もある。

⇒【行政】

ただ全体的にはやはり減少傾向にあるので、表に示されている通りではないかと思う。

遊ぶ、学ぶについてはほぼ変わらないと思うが、触れ合うという部分については、御殿場、小山と比較すると確かに漏れているものがあると思う。

⇒【岩田委員】

数字はいじれないので、やはりカウントはされていないが、裾野市ではこういったイベントが行われているというような注釈を入れたらどうか。

⇒【濱中委員】

これから先経年で見ていく時に、2 つのイベントしかないというような記録が残ってしまう。

⇒【岩田委員】

今後はできれば御殿場に負けないように色々なイベントを入れてもらいたい。

⇒【道本委員】

客観的な数字が他に無ければ、これを使うしかないなので、注釈で他のイベントについては資料の中には入っていないと入れておいた方が良い。

⇒【木村委員長】

このような意見がたくさん出ているので、今後は正しいカウントで報告ができるようにしてもらおう。

報告書には注釈で実際に行っているイベントを入れる。

【産業建設部長】

庁議の中での意見としては、前置きが長いという意見もありましたが、やはり市民が現状や課題を知らないので長くても仕方がないというような説明をした。

今後、議会の委員会や全員協議会で説明する予定。議員の皆さんには知っておいて頂いて、協力して頂く必要があるので、そのような段取りを考えている。

<修正箇所>

- ・ 誤字・脱字、字体の統一に関しては今後修正する。
- ・ 今掲載の写真は改めて選定し直す
- ・ P3 一番下のヒアリング対象者
都市計画室⇒都市計画課 農林振興室⇒農林振興課 渉外室⇒渉外課
- ・ P4 真ん中の表は外国人人口を含んだ数字なので、最終的に統一
- ・ P9 ぐりんぱ・イエティ
スキー場がオープン。(イエティ)⇒スキー場(イエティ)がオープン。
- ・ P9 水ヶ塚公園の写真差し替え
- ・ P10 アシタカツツジ原生群落の写真差し替え
- ・ P13 平成 21 年度観光交流客数前年比 100.2%⇒99.2%
- ・ P18 まとめを記載する
- ・ P22 (3)の最後、機能の安全を⇒機能の保全に
- ・ P34 ・の 2 番目、「工業のまち」から「観光のまち」⇒「工業のまち」と共に「観光のまち」
- ・ P36 5⇒○ 6⇒5 で以降番号をずらして 1～22 までの番号になる
- ・ P37 5⇒○ 7⇒○ 6⇒5 で以降番号をずらして 1～22 までの番号になる
- ・ P40～43 空欄の部分には写真が入る
- ・ P47 17 番 18 番 「低」⇒「中」

<補足>

- ・ 基本計画最初のページに、市長写真入の挨拶文が入る
- ・ 最後のページに市民憲章が入る

3. その他

今回はその他連絡事項等はなし。

4. 閉会

庄司政史副委員長

観光振興ということについて、裾野市発展、交流人口の拡大、地域経済の活性化という目的が少しでも達成できるようになれば、素晴らしいことだと思う。また、委員皆さんの意見を伺い、大変勉強になったので、しっかり活かしていきたいと思っている。そして、今後の裾野市の発展に寄与すれば幸いだと思っている。